

予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入は一括、歳出については、款項ごとに審査しました。歳入は、町税の伸びは小さく、引き続き新たな財源の確保や税の収納率の向上に取り組む必要があります。

歳出は、魅力あるまちづくりのために、全国的に人口が減少する中、地方創生の大きな流れをしっかりと受け止め、将来に希望と誇りを持てるまちづくりに全力で取り組んでいるが、厳しい予算編成となっています。

これらのことを踏まえ、次の項目について強く申し入れて、賛成することとしました。

- (1) 町税、地方交付税が年々減少しているため、ふるさと納税に一層力を入れ、基金への積増を図ること。また、返礼品については、心から喜ばれるよう厳選したものとされたい。
- (2) 定住化促進事業については、即効性のある都市基盤整備に取り組むこと。
- (3) おもてなし事業については、町民の参加のもと実りのある施策の実施に取り組むこと。
- (4) ヤマビル対策については、県全体で各団体と協力して対応すること。

施設

問 設定されている。この基本構想の事業実施年度や総工費は、どのくらいになるのか。

答 (まちづくり課)
基本構想は、平成28年度から3年間かけて策定するためのもので、現時点では、事業手法が固まっていないため、総工費等は回答できない。

問 街中トイレと西平畑公園のトイレ設置予算は、安い工事費のようだが、仮設トイレを考えているのか。

答 (観光経済課)
JR駅前のポケットパークには、一般の仮設トイレとは違い、鉄骨造りで耐用年数も20年はもつ

という常設トイレを考えている。西平畑公園についても、物は仮設だが、常設トイレという形で計画している。

問 県道から新松田駅南口に向かう、交差点の隅切り部分の工事が、今回の予算に計上されることになった経緯を説明していただきたい。

答 (まちづくり課)
県警本部との協議の結果、県道から南口に向かう交差点は、路線バスを

安全に誘導するため、交差点の隅切りが必要であることの指導を受け、用地

問 寄地区の乗合バス運行事業は、各集落に入る枝線を平日、増発できないか。

答 (政策推進課)
地域公共交通会議等でどこまで増便できるか検討していきたい。

その他

買収費などの予算を計上することになった。

問 ヤマビルの対策は、少なくとも県全体で考えるべきではないか。

答 (観光経済課)
ヤマビル対策や鹿・猪の駆除を含め、近隣市町との連携や県と相談して進める。

きたい。

問 平成28年度もプレミアム商品券の発行を予定しているが、昨年は購入できなかった町民もあり、クレームが寄せられているようだが、そのような事がないようにどのように考えているのか。

答 (観光経済課)
国の補助金でプレミアム率が20%ということもあり、例年にない状態だったということで、何時間並んでも買えなかった人もいたが、その反省点も踏まえ、商工振興会とも協議し対策をしていく。

問 社会福祉協議会の補助金は、どういふものに使われているのか。また、毎年似たような金額が計上されているが、自主事業で収益を上げる指導も必要だと思いがどうか。

答 (福祉課)
補助金は、人件費に充てられている。町も財源が厳しいので、自主財源獲得に努めていただき、会費制の団体でもあり、会費を人件費に充てられるかどうかということろを、研究して指導してい

問 移動販売推進協議会を立ち上げて、運転をしてもらえる人選をして、その後、必要経費である車の購入とか、その他の費用について補助をしていく形を考えている。

答 (観光経済課)
移動販売推進協議会を立ち上げて、運転をしてもらえる人選をして、その後、必要経費である車の購入とか、その他の費用について補助をしていく形を考えている。

問 爆発的に増え続ける



虫沢田代地区を走っているバス